佐和歓喜頂点

弓道 女子団体

〈弓道女子団体決勝〉優勝した佐和＝県武道館

県高校総体

県高校総体は12、13日、各地で行い、弓道の女子団体は佐和が優勝し、男子団体は清真学園が2連覇を飾った。

体操の団体は男女とも常磐大高が頂点に立った。個人総合は男子の三瓶広樹（勝田工）、女子の永里杏澄（常磐大高）が優勝を飾った。

登山は男子の水戸一、女子の水戸三が制した。バドミントンは個人シングルスを行い、男子は本田晃太（常総学院）、女子は森咲和佳（同）がそれぞれ栄冠を手にした。

バドミントン

（12日・牛久運動公園ほか）

【男子】

◇個人シングルス▽準々決勝 杉山潤（茗渓学園）2－1深谷（常総学院）、内藤（常総学院）2－1紺谷（牛久栄進）、広瀬（下妻一）2－1廣（常総学院）、本田（常総学院）2－0杉山（茗渓学園）

▽準決勝 内藤2－0杉山潤、本田2－0広瀬

▽3位決定戦 杉山潤 2－0 広瀬

▽決勝 本田 2－1 内藤 21－18、21－15、21－19

【女子】

◇個人シングルス▽準々決勝 森（常総学院）2－0鈴木（茗渓学園）、海老沢（石岡一）2－0本田（つくば国際）、島倉（常総学院）2－1芳村（茗渓学園）、酒井（常総学院）2－0宮本（常総学院）

▽準決勝 森2－0海老沢、酒井2－0島倉

▽3位決定戦 島倉 2－1 海老沢

▽決勝 森 2－1 酒井 21－12、21－14

中男女とも上位2人が全国総体（8月8～12日・岡山）に出場

弓道

（13日・県武道館）

【男子】

◇団体〉決勝リーグ ①清真学園5勝②佐竹3勝2敗③水戸桜ノ牧3勝2敗④日立南2勝3敗⑤土浦一2勝3敗⑥下妻一1勝4敗

中2、3位、4、5位は競射による

【女子】

◇団体〉決勝リーグ ①佐和4勝1敗②水戸三3勝2敗③水戸一3勝2敗④石岡一2勝3敗⑤太田一2勝3敗⑥清真学園1勝4敗

中2、3位、4、5位は競射による

中男女とも優勝校が全国高校総体（8月3～6日・鳥取）に出場

登山

（10～12日・里美野外活動センター周辺）

【男子】

▽順位 ①水戸一②日立工③日立北④下館工⑤茨城キリスト⑥総和工

【女子】

▽順位 ①水戸三②水戸一③日立一④茨城キリスト

中男子は上位5校、女子は上位3校が関東大会（10月28～30日・埼玉）に出場

体操

（12日・笠松運動公園体育館）

【男子】

◇団体総合 ①常磐大高241・050点②茗渓学園208・550点③勝田工235・450点

◇個人総合 ①三瓶広樹（勝田工）0・000点②鈴木（茗渓学園）0・000点③内藤（常総学院）0・000点

ハイライト

強い精神力、一丸で勝利

弓道女子団体は佐和が頂点に立った。6校総当たりの決勝リーグ、5回戦の水戸一戦は、富岡茉莉藻（3年）と寺山菜々美（2年）が4射皆中し、11－10で競り勝った。試合後、優勝が決まったことを辻元誠之監督（51）から知らされた選手の目には、歓喜の涙があふれた。

4月からの練習は大会に近い緊張感を保つため、選手が自主的に工夫を凝らした。各自が目標の的中数を定め、達成できなければ筋力トレーニングを課すようにしたことで、「1本も無駄にしないように」（富岡）取り組む雰囲気が醸成された。

寺山は5回戦を振り返り、「相手の応援が大きかったが、こっちも負けないぞという気持ちになった」と話す。練習で培った強い精神力が発揮された。

3年生部員は3人だけだが、チームに調和をもたらす。安定感がある富岡を軸として、まとめ役である樫村琳主将、いるだけで「場を和ませる」榊ゆりかが下級生を引っ張る。樫村は2年生のおかげで大会に出場できる人数がそろっていることに感謝し、「大会に出られるか心配な時もあったが、後輩がいっぱい入ってくれてありがたい」と笑顔。榊は「下級生みんなに支えられている」と実感を込める。

インターハイに向けて胸を躍らせる富岡は「チームの意識を持ってお互いに助け合いたい。結果よりも、佐和高らしい射をしたい」と自慢のチームワークを貫くつもりだ。

（岡田恭平）